

【施策の方向性】

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済性や利便性を重視した東京圏への一極集中の社会構造やデジタル化の遅れなど、多くの課題が顕在化している。
- ポストコロナ社会はコロナ発生前への回帰ではなく、デジタル技術の活用等により、場所や距離を問わない「新たな日常」へ移行していくものとされており、地方移住のニーズの高まりやテレワークなど働き方に対する考えに変化が生じるなど、地方に新たな価値を見出す機運が生まれている。
- このような中、地方創生の推進に当たっては、感染症拡大の防止と経済活動の両立の視点を取り入れながら、既存事業の見直しを図るとともに、県内事業者等の競争力・リスク対応力強化や観光需要の回復、地方分散の受け皿となる環境づくり、新しいライフスタイルの推進等の取組を強化する。

新しい地方創生の実現

- ・ コロナに強い社会環境整備
- ・ 新たな暮らしのスタイルの確立
- ・ 新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進

デジタル化 の加速

第3ステージ

「新たな日常」への対応

- ・ 様々な分野での未来技術の社会実装
- ・ 新たなライフスタイルの提案
- ・ 企業の本社機能・オフィス移転 など

第2ステージ

感染症拡大の防止と経済活動の両立

- ・ 事業者の経営再建
- ・ テレワークの導入促進
- ・ 3密回避を前提とした観光誘客 など

第1ステージ

感染症への緊急対応

- ・ 医療体制の構築
- ・ 感染症予防の徹底
- ・ 雇用の維持、事業継続
- ・ 遠隔教育など、学びの保障 など

1. 県内事業者等の競争力・リスク対応力強化〔戦略1・2・3〕

中小企業を対象に、新しい生活様式に対応するための改装・機器整備や非対面型ビジネスモデルへの転換、サプライチェーンの再構築など、県内事業者等の競争力やリスク対応力の強化を図る。

【主要な事業】

- 新型コロナウイルス感染症関連経営再建相談事業費〔4月補正：5,333千円〕
中小企業の経営再建計画策定等への支援
- ものづくり技術強化補助金〔6月補正：25,000→75,000千円〕
県内中小企業が行う新技術・新製品の開発への助成（新型コロナ対策製品開発支援枠の設定）
- サプライチェーン再構築支援事業費〔3月・9月補正：200,000千円〕
県内の中小企業等がサプライチェーン再構築のために行う生産設備の整備等への助成
- 地域企業再起支援事業費〔4月・6月・9月補正：1,139,500千円〕
中小企業が環境変化に対応するための支援
- とちぎの農畜産物等スマイルアップ事業費〔6月補正：110,500千円〕
インターネット通販サイト等を通じた県産農畜産物等(牛肉、花き、果物、加工品等)の販売、生産者
がインターネット通販を開始するための研修等

など

2. 観光需要の回復〔戦略4・5〕

感染拡大防止対策の実施を前提として、観光キャンペーンの実施や三密回避の旅行商品の造成、さらには新たな宿泊モデルとなるワーケーションの推進など、早期の観光需要回復に取り組む。

【主要な事業】

- 三密回避旅行商品造成促進事業費〔6月補正：55,000千円〕
三密を回避し、県内を安全・安心に周遊できる旅行商品の造成
- とちぎに泊まろうキャンペーン事業費〔6月補正：462,248千円〕
新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光等の需要回復に向けたキャンペーンの実施
- 県民一家族一旅行推進事業費〔6月補正：320,650千円〕
観光需要の回復に向けた県民の県内宿泊旅行料金の割引等
- 有料道路無料化事業費〔3月補正：250,000千円〕
県民一家族一旅行推進事業に合わせた有料道路無料化の実施
- スマートワーケーション推進事業費〔9月補正：84,153千円〕
ワーケーションを推進するためのPR等

など

3. 地方分散の受け皿となる環境づくり〔戦略7・8〕

過密な大都市を離れ、地方で暮らしたいと移住を希望する者が増加するなど、地方移住への関心の高まりを好機と捉え、県内市町と連携しながら、地域特有の魅力を発信し、とちぎへの新しいひとの流れを創出する。

【主要な事業】

- U I Jターン促進・関係人口創出事業費〔9月補正：17,009千円〕
本県へのU I Jターンの促進や地域との継続的な関わりを持つ関係人口の創出等
- とちぎお試しサテライトオフィス設置促進強化事業費〔9月補正：28,000千円〕
本県への移住に向けたお試しサテライトオフィスの設置促進
- オフィス県内移転推進事業費〔9月補正：30,000千円〕
本県へのオフィス移転に係る建物賃借料に対する助成

など

4. 新しいライフスタイルの推進〔戦略11・12・15〕

テレワークの利用希望の高まりなど、働き方や暮らし方に対する意識に変化が生じており、テレワークの更なる普及促進や遠隔授業の実施などのデジタル化を促進し、新しいライフスタイルの実践・定着を推進する。

【主要な事業】

- とちぎテレワーク環境整備導入支援事業費〔4月補正：10,000千円〕
県内中小企業が行うテレワークの導入に対する助成
- 障害者支援施設等ロボット等導入支援事業費〔9月補正：15,000千円〕
障害者支援施設等におけるロボット等の導入に対する助成
- 文化・芸術活動応援事業費〔6月補正：4,901千円〕
本県ゆかりの若手音楽家の活動支援及び県民に対する文化・芸術を鑑賞する機会の提供
- とちぎ舞台芸術発表応援事業費〔9月補正：6,011千円〕
県芸術祭ホール部門中止に伴う舞台芸術発表の場の確保及び鑑賞機会の提供
- 学校ICT化プロジェクト推進事業費〔6月補正：36,012千円〕
学校におけるICT活用教育の推進
- 県立学校ICT環境整備事業費〔6月補正：1,514,556千円〕
国の「GIGAスクール構想」に基づく、学びの保障のためのICT環境整備

など